

皆様初めまして。北里大学医学部皮膚科学教室に所属しておりました、高岡奈那子と申します。私は北里大学医学部皮膚科学教室に入局し、約5年間臨床に従事した後、北里大学皮膚科大学院に進学いたしました。この度、無事に大学院を修了したため、これまでの研究成果などに関し、ご報告させていただきます。

まず、北里大学大学院への進学の背景についてお話ししたいと思います。専門医の前実績を取得した頃、皮膚科医として視野を広げたい、また、論文の書き方や読み方を勉強してみたいと考えるようになり、大学院進学を決めました。私は都内在住のため、交通の便から都内の大学院も検討しましたが、慣れ親しんだ北里大学の皮膚科が大好きだったこと、天羽教授の専門としている幹細胞領域に興味があったこと、そして何より、天羽教授に「うちなら絶対4年で卒業できるように、しっかり指導するよ。」と声をかけていただいたことが決め手となり、北里大学大学院に入学いたしました。

北里大学皮膚科学教室では、先述のように毛包幹細胞の研究をしています。毛包幹細胞は当皮膚科学教室が発見した成体幹細胞であり、当皮膚科大学院においても、毛包幹細胞の持つ多分化能を活かした再生医療への応用実験をしています。入学後、私はラット毛包幹細胞から心筋細胞の分化誘導を目的とした研究を行い、在学中に毛包幹細胞由来の心筋シート作成と、心房筋・心室筋細胞の分化誘導方法の確立を証明し、いずれも論文掲載に至っております (Takaoka N et al. *Medical Molecular Morphology*. 55, 248-257, 2022.) (Takaoka N et al. *PLoS One*.19, e0297443, 2024.)。

余談ですが、私は在学中に妊娠・出産を経験したため、研究が思うように進まない時期もありました。しかし、天羽教授のご指導、研究室の皆様のご助力のおかげで、何とか2本の論文執筆を終えることができ、卒業を延期することもなく、無事に4年で大学院を修了することができました。また、有難いことに、卒業時に優秀学位論文賞もいただくことができました。

近年は博士号よりも専門医資格が重要視される風潮にあり、若い先生方のキャリアの選択肢に、そもそも大学院や学位取得が入っていないことも多いかと思います。しかし、アカデミックな視野を広げることは、専門分野のより深い理解にも繋がりますし、私は授業を受けたりレポートを書いたりなど、久しぶりの学生生活がとても楽しかったので、後輩の先生方に大学院という選択肢を知っていただけたらなと思います。

最後に、在学中の業績は全て、天羽教授をはじめ、皮膚科学教室の関係者の皆様に支えていただいたからに他なりません。この場を借りて、深謝申し上げます。

優秀学位論文賞

高岡奈那子 殿

あなたは本学大学院医療系研究科
医学専攻博士課程において優秀な
学位論文を完成されました
よって記念品を贈りこれを賞します

< 論文題目 >

Hair-follicle-associated pluripotent (HAP) stem cells can differentiate into beating cardiomyocyte sheets and cardiomyocyte subtypes (atrial and ventricular cardiomyocytes) (毛包幹細胞由来心筋シートの作成と、心房筋・心室筋細胞の分化誘導方法の確立)

2024年3月10日

北里大学大学院医療系研究科
研究科長 高平尚伸

